

令和3年4月15日 第3-14号

# 区議会報告

**目** 令和3年第1回定例区議会  
が39日間の会期で開催  
令和3年度の予算審査が行われました

令和3年2月16日から3月26日の39日間の会期で令和3年第1回葛飾区議会定例会が開催され、予算案10件、条例案17件、契約案7件、その他案3件、議員提出議案5件、についての審議が行われました。

2月16日の区長発言、付議事件案の説明、予算審査特別委員会の設置に始まり、各常任委員会での議案審査後、2月25、26日の2日間で代表質問、一般質問、その後予算審査特別委員会、4常任委員会で議案の審議、3特別委員会、そして3月26日に採決のための最終本会議が開催され、39日間の第1回定例区議会が閉会しました。

今定例会では自由民主党議員団を代表して35分間に渡り、令和3年度の青木区長の区政運営について代表質問を行いました。

また、予算審査特別委員会では、総括質疑、分科会審査が行われ、自身も所属委員会で

ある総務委員会関連の第一分科会と都市基盤整備特別委員会関連の第三分科会に出席し、各般に渡り質問いたしました。

令和3年度予算は区民の皆さんから預かった貴重な限りある財源が、後期実施計画に掲げる事業や重点事業を中心に、効果的・効率的に配分されており、区民の負託に応える予算編成であると認識し7件の予算案に賛成いたしました。

※可決した令和3年度予算額は下記の通りです。

一般会計	1,994億2,000万円(2,049億1,000万円)
特別会計	997億5,300万円(991億2,910万円)
合計	2,991億7,300万円(3,040億3,910万円)

( )は2年度分

区民一人当たりの一般会計における予算額は430,070円となります。

(人口463,691人)令和3年1月1日現在



**安心・安全・元気な葛飾  
のために全力疾走**



TSUTSUI TAKAHISA

# 筒井たかひさ

令和2年度一般会計補正予算(第9・10号)  
令和3年度一般会計補正予算(第1号)  
が原案通り可決

令和2年度補正予算第9号は歳入歳出にそれぞれ110億3,387万円を追加し、予算の総額を2,776億9,093万円に、補正予算第10号は歳入歳出にそれぞれ1億1,170万円を追加し、予算の総額を2,778億264万円にまた、令和3年度補正予算第1号は歳入歳出にそれぞれ37億4,830万円を追加し予算の総額を2,031億6,830万円とする一般会計補正予算案が原案の通り可決しました。

令和2年度補正予算9号の主な内容は、新型コロナウイルス感染症関連経費に3億5,503万円、街づくり事業経費の用地取得費等に41億2,935万円、財政調整基金積立金に100億97万円、イベント中止・変更分、執行残による減額補正で▲41億5,048万円等です。

令和2年度補正予算10号は、全額新型コロナウイルスワクチン接種事業経費です。

令和3年度補正予算1号の主な内容は、新型コロナウイルスワクチン接種事業経費に35億569万円、PCR検査の実施費用に2億3,154万円等です。

区政並びに区議会に関する区民の皆さんのご意見、ご感想、ご要望をお聞かせ下さい。



生き生きと生活できる  
『葛飾』に向けて奮闘中!



## 自由民主党議員団幹事長 として代表質問

令和3年2月25日(木)自由民主党議員団を代表して以下の質問を行いました。



### 1. 当初予算案及び今後の財政運営について

**質問：**一般会計の対前年度当初予算比が2.7%の減少となった結果について、区長の認識を伺う。

**答：**一般財源の減収見込分約64億円の額を超えないように、過去最大規模の財政調整基金58億円の繰り入れを行い、予算はマイナスになったが、予算査定を通して、区民サービスを低下させることなく、アフターコロナを見据えた賑わいの創出などに取り組む予算編成ができたと考えています。

他、経営改革の取組方針も含め、どのような考えで予算編成を行ったのかなど3問

### 2. 本区におけるSDGsの取り組みについて

**質問：**第2回SDGs先進度調査の結果を、区はどのようにとらえ、どのように認識しているのか伺う。

**答：**前回の全国総合第14位から第3位の評価となった調査結果はSDGsの視点から葛飾区の総合力が評価されたものと真摯に受け止め、協働をすすめ、さらに持続可能な葛飾を目指してまいります。

他、環境施策の推進のための条例制定についての区の考えを伺うなど3問

### 3. 新型コロナウイルス感染症対策について

**質問：**区民の不安や疑問に寄り添い、ワクチン接種を進めていくべきと思うが、区の対応を伺う。

**答：**区民の不安や疑問にお答えできるようコールセンターを設置するとともに、ワクチンの有効性や安全性だけでなく、接種後の副反応などの情報についても広報かつしかをはじめ、ホームページなどで広く周知します。

他、ワクチン接種のスケジュールや準備状況について伺うなど2問

### 4. 総合庁舎の移転について

**質問：**総合庁舎の立石駅北口駅前への移転計画について、区長の基本的考えを改めて伺う。

**答：**便利で快適な区民サービスや立石駅周辺の賑わいある街づくり、現庁舎敷地の効率的・効果的な活用など様々な角度から熟考を重ねた結果、現庁舎の機能は原則、東棟に移転させることとし、今後検討していく中で必要とする保留床を取得していく考えです。

他、現庁舎の活用方針、災害時の対応方針とともに、今後想定される維持補修費を含めた保全計画を明確にすべき

### 5. 今後の公共施設の在り方について

**質問：**地域コミュニティ施設の利用状況はどのようなもので、それに対する区の見解を伺う。

**答：**令和3年度1月までの利用率は39.1%で利用率が下がった要因としては区民の皆様が外出自粛に協力いただいた影響です。

他、立石駅周辺の街づくり、及び総合庁舎の移転計画に合わせて、周辺の公共施設の在り方を早急に示すべきなど4問

## 令和3年度予算の重点対策

新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅に落ち込んだ景気の影響を受け、特別区税は、個人所得の減、特別区交付金は、原資である市町村住民税法人分の減収が見込まれるなど、歳入における一般財源は64億円の大幅な減収、また、歳出面では新型コロナウイルス感染症への対策や地域経済への支援の拡大、デジタル化による区民サービスの向上など、新たな課題に対応する経費の増加が見込まれており、このコロナ禍の劇的な変動期を区民とともに乗り越え、発展させるために下記のような予算の重点対策を行いました。

1. 事務事業の徹底した見直し (△7億円)
2. 事業の実施時期の見直し (△33億円)
3. 基金への積み立ての先送り (△38億円)
4. 新型コロナウイルス感染症対策 (25億円)
5. デジタル化の推進 (6億円)
6. 令和2年度に積み増しする  
財政調整基金の活用 (58億円)



次回の定例区議会は令和3年6月7日から6月23日まで17日間の開催予定です。

区政並びに区議会に関する区民の皆様のご意見、ご感想ご要望をお聞かせ下さい。お問い合わせは下記まで。

発行人：葛飾区議員 筒井たかひさ

連絡先：筒井たかひさ事務所

【住所】葛飾区亀有 3-40-5

【電話】03-3602-4415 【FAX】03-3602-4686

【メール】takahisa@tutui.co.jp

<http://tsutsui-t.com>